

期 中 の 評 価 個 表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成9年度～平成24年度（16年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	大塔谷地区（おおとうだに） 和歌山県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は和歌山県田辺市本宮町の大塔山系に位置し、中央構造線の外帯で断層の影響により破砕作用を直接受け、非常に脆弱な地質構造のため、山腹の拡大崩壊が続いている。</p> <p>下流には川湯温泉があり、川原での露天風呂やキャンプ場等の施設利用者も多く地元本宮町から治山事業の要望があった。</p> <p>このため、崩壊地の拡大防止、不定土砂の移動を抑止し、渓床を安定させることで下流域の保全と保安林機能の回復・増進を図ることを目的として本事業に着手した。</p> <p>主な事業内容 山腹工 2.41 ha（11箇所） 谷止工 11 基</p>		
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>当初計画では自然復旧が見込まれていた箇所が、その後の台風等による集中豪雨のため拡大崩壊し、それに伴い溪流荒廃が発生。対策工の必要が生じ、計画額が増加した。</p> <p>現時点における費用対効果分析結果は以下のとおりである。</p> <p>総費用（C） 637,832 千円 総便益（B） 896,597 千円 分析結果（B / C） 1.41</p>		
森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>当地区は、砂岩・頁岩の互層から成り、断層の影響により破砕作用を受け脆弱な地質構造となっている。</p> <p>事業着手後、平成17年に市町村合併により田辺市に編入された。</p> <p>保全対象：人家等375戸、市道・林道30km</p>		
事業の進捗状況	<p>緊急性、効率性を考慮し、上流部にある崩壊地の早期復旧と、不安定土砂の移動抑止と山脚固定のため山腹工と谷止工を併せて施工している。</p> <p>平成19年度までの事業は、山腹工5箇所1.71ha、谷止工8基で、進捗率69%（事業費）の見込みである。</p>		
関連事業の整備状況	該当なし。		
地元（受益者、地方公共団体等）の意向	<p>当該地区の下流に位置する川湯温泉では、大雨による河川の増水で周辺道路が冠水するなどの被害がでている。このため当該地区の崩壊地等について、早期に保全工事を実施し、保安林機能の維持・増進を図ることが重要であり、事業の継続実施を要望する。（和歌山県）</p> <p>当該地区を源とする大塔川の豪雨増水による浸水対策として、大塔山の崩壊地における治山事業は重要であることから、事業の継続をお願いする。（田辺市）</p>		
事業コスト縮減等の可能性	<p>山腹工において、間伐材や現地発生材を利用した工法の採用、谷止工については、ダム本体と間詰の一体施工による型枠等工事資材の節減、丸太存置型枠の採用により、コスト縮減、木材の利用促進を図っており、今後も一層のコスト縮減に努めることとしている。</p>		
代替案の実現可能性	該当なし。		
第三者委員会の意見	下流域の保全の必要性、地域の要望等から対象事業を継続することが適当と考える。		
評価結果及び実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び渓床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大と土砂の流出による、下流域への被害が懸念されることから、保安林機能の回復、発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により山腹崩壊地の復旧、渓床の不安定土砂の安定化など、下流域の保全が図られることから、有効な事業と認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、コスト縮減に努めていることから、効率性は認められる。 <p>上記～の各項目及び各観点からの評価、並びに第三者委員会の意見を踏まえ総合的かつ客観的に検討したところ、事業の継続実施が妥当と判断される。</p> <p>・実施方針： 事業を継続する。</p>		